

# 一 般 質 問 通 告 書

平成29年第2回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	高田 豊繁	1 役場仮庁舎の利便性向上について	(1) 役場仮庁舎の利便性を図るため、公共交通機関の整備やATMの設置を関係機関に要請する考えはないか。	町 長
		2 中高生の部活動への助成制度の拡充について	(1) 中高生の吹奏楽や各種スポーツの部活動において、島外出場経費が子育て家庭の家計に大きな負担となっているが、県の取組とも併せて、早急なる助成制度の拡充を図る考えはないか。	町 長 教 育 委 員 長
		3 大金久一带の保安林整備について	(1) 大金久海浜背後の保安林は、背後農地等への災害防止対策の面から必要不可欠な資源であるが、今後県に保安林の整備を強く要請する考えはないか。	町 長
		4 防犯灯や街灯の設置について	(1) 中心市街地の活性化や住民の安心安全対策の観点から、防犯灯や街灯の設置は必要だと痛感される。特に臨港道路や町道兼母・源手名線等は夜間、漆黒の状況であるが、その対策をどのように考えているか。	町 長
		5 町民参画型行政の推進について	(1) 行政コストの縮減や、健康づくり、町民相互連帯感の高揚の面からも、町民に参加を呼び掛けて、住民共同参加型の行政推進を図る考えはないか。	町 長 教 育 委 員 長
		6 町道千迫線の拡幅整備について	(1) JA選果場から与論高校西側を通り、町道船倉・茶花線へ通ずる町道千迫線は、JA関係者や一般農家及び生徒の利用が多い反面、幅員が狭く見通しも悪いため危険性が指摘されているが、その対策を講じるための整備計画はどうなっているか。	町 長
2	沖野 一雄	1 サトウキビ産業の今後の振興対策について	(1) 今期のサトウキビ生産量は、気象条件等に恵まれて8年ぶりに3万2,000トンを超える豊作となった。しかしながら、収穫及び管理作業等に係る委託や受託の割合が増える傾向の中で、解決すべき新たな課題も生じてきている。 本町の基幹産業と位置づけられてきたサトウキビ産業を巡る現状と課題についてどう認識し、今後の振興方策を進める考えであるか。	町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

平成29年第2回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
		2 水産業の振興対策について	<p>(1) 近年、入込客の増加による観光業や畜産業における子牛の販売額の顕著な伸びに牽引されて、本町経済は明るい兆しが見えつつある。一方、古くからの伝統産業とも言うべき水産業については、後継者不足や漁業資源の減少等を背景に、魅力ある成長産業とは言いがたい状況に置かれている。</p> <p>この水産業の未来について、どのように認識し、具体的な振興・浮揚策を進めていく考えであるか。</p>	町 長
		3 大規模災害等に備えた危機管理対策について	<p>(1) 近年、スーパー台風の襲来や大地震、大津波などの自然災害の発生、極東アジアにおける戦争勃発の危機、テロリスト等による人的災害の発生など、地方においても大災害に備えた危機管理対策の重要性が高まってきている。</p> <p>このような情勢の中で、今後の危機管理対策をどのように進めて、町民の命や財産を守っていく考えであるか。</p>	町 長
3	町 俊 策	1 鹿児島大学与論活性化センター設置の継続と支援体制について	<p>(1) 新庁舎建設に伴い、旧町立診療所は取り壊されると聞いているが、現在、この旧診療所に設置されている鹿児島大学与論活性化センターは、今後どうなるのか。</p> <p>また、同センターを継続的に設置し連携することにより、その研究成果を本町の将来に役立てることが今後も重要であると痛感されるが、同センターを新庁舎内に設置し支援する考えはないか。</p>	町 長
		2 茶花市街地道路の浸水対策について	<p>(1) 例年、梅雨や台風時期に大雨と満潮が重なると、茶花のウブインジュからあふれた雨水が信号機周辺の商店街一帯に浸水し、商品等への被害や交通障害など、生活環境に悪影響を及ぼしていることは周知のことと思うが、この現状をどのように認識し、現在どのような対策を講じ、いつごろ解消されるか。その対策の進捗状況はどうなっているのか。</p>	町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

平成29年第2回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
4	遠山 勝也	1 農業農村整備事業について	(1) 第5次与論町総合振興計画に、農業農村整備事業の推進により営農の規模拡大、効率化を図り、農地の流動化、施設の団地化をスムーズに行うため、関係機関一体となった体制整備を行うとあるが、具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
		2 海岸漂着物等の対策について	(1) 九州電力新与論発電所下の海岸に漂着物やごみが以前から溜まっている。年に1～2回重機を入れて清掃しているとのことだが、除去しきれていないのが実状である。付近にはリゾートホテルもあり、観光客が頻繁に往来することから、早急な対策が必要であると痛感されるが、町長は、対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
5	川村 武俊	1 共同納骨堂の整備について	(1) 我が島は、古くから先祖崇拝が日常生活に溶け込む土地柄であり、お盆や年末、お正月には時間を先祖とともに過ごす家庭も多いが、近年、核家族化や少子高齢化に伴い、先祖の墓の維持管理が困難な状況や継承者がいないことにより無縁墓が増加することが懸念されている。また、本土では、無縁墓の最終処分をどうするかが自治体の大きな負担となっている事例もメディアで報じられている。 本町でも共同納骨堂の整備について検討を進める時期にきていると痛感されるが、町長はどのように認識し、どう対策を講じる考えであるか。	町 長
		2 ふるさと納税について	(1) ふるさと納税制度を利用して本町に寄付をされる方々から広く意見を聴取し集約して、きちんとした目的をもった使い道を定める考えはないか。	町 長
		3 製糖工場の年内操業について	(1) 製糖工場の年内操業は、サトウキビの早期の肥培管理作業と経済の循環効果をもたらし島の活性化につながると考えるが、なかなか実現できない理由はどこにあると考えるか。また、そのための対策をどう講じる考えであるか。	町 長

